

2021年度 有料道路コンセッションの取組状況について（概要版）

I. 事業報告

(1) 交通量（5,624万台 [2020] → 5,910万台 [2021]）

- 8路線全体の交通量は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急事態宣言などの断続的な発出を受け、コロナ禍前の2018年度比では約16.2%の減少。前年度（2020年度）比では約5.1%の増加
- 路線別でも同様な傾向。2018年度比で約48.4%と最も減少している中部国際空港連絡道路でも、前年度（2020年度）比では約15.8%の増加

(2) 料金収入（13,924百万円 [2020] → 14,574百万円 [2021]）

- 8路線全体の料金収入は2018年度比で約16.5%の減少、前年度（2020年度）比では約4.7%の増加
- 空港アクセスを担う知多横断道路と中部国際空港連絡道路では、依然として2018年度比では著しい減少が続き、知多横断道路は約42.8%の減少、中部国際空港連絡道路は約49.6%の減少

(3) 収支状況

- 計画上の収支構造として、運営権対価分割金を元利均等払いとしている点も踏まえ、安定的な経営に向け、事業前半で収益をあげる想定
- 2021年度の収支実績
 - ・愛知県道路公社（以下「公社」）の償還準備金繰入は6.7億円
 - ・愛知道路コンセッション㈱（以下「ARC」）は当期純利益2.9億円を計上

【評価】

- ・2021年度ARCの収支は、料金収入の減少に伴い、売上高は計画値の95.5%となったが、売上原価は計画値の88.9%となり、当期純利益は計画値を充足
- ・公社が支払う需要変動調整額の受け入れ、生産高比例法による交通量に応じた減価償却が減少したことが売上原価の主な減少要因（交通管理・料金収受・維持・点検修繕等の維持管理運営業務や附帯事業・改築事業は要求水準を維持）
- ・公社の償還準備金繰入は、2020年度に比べて大幅な減少となり、計画を下回る実績としたが、交通量は回復傾向にあることから中長期的な償還計画に大きな影響を及ぼす可能性は低い

II. 主な取組内容

(1) 通常時や災害時等における維持管理・運営業務

- 公社運営時と同様の管理水準、サービス水準を確保
- 不測の事態に対しても、公社と連携し適切に対応

- ARCが認証取得したISO55001アセットマネジメントシステムに基づく愛知有料道路インフラマネジメントシステムにより、重要管理指標（KPI）の目標値を掲げることで、道路運営の「見える化」を図るとともに、事業目的達成のためPDCAサイクルによる継続的な見直しを通じて、より安全・安心な道路運営及び利用者サービスの向上を実現



【ISO55001 認証及び維持認証】

(2) モニタリング実施による要求水準の確保

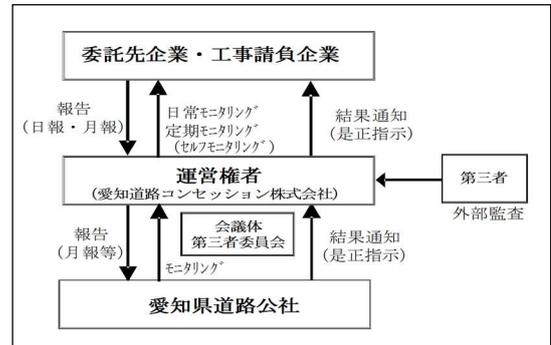
- 公社が要求する水準（要求水準書）の達成状況等を確認するため、ARCがセルフモニタリングを実施
- 会議体や中立的な立場の第三者委員会による確認
- 公社からの是正指示に対し、迅速に対応

【評価】

- ・ 業務全体が要求する水準を充足しており、年間を通じて適切な事業運営を確認
- ・ 維持管理・運営業務における不適切な作業方法等全2件について行った是正指示に対し、ARCの是正対応状況を確認

(3) 民間の創意工夫による取組

- ISO55001 認証維持及び認証範囲の拡大（導入3年後の更新審査）
- 電子帳票ソリューション「i-Reporter」の導入運用
- 新技術の実証実験（愛知アクセラレートフィールド®）
- 回数通行券郵送販売のWEB申し込み導入
- 1日乗り放題チケットを発売し利用促進
- 知多半島外と相互に人流を生み出すための広域連携PRイベントや、知多半島の市町をPRした「知多半島プチマーケット」の開催
- PAレストランでのコロナ対応として、テイクアウトでの食事の提供等を実施
- PAレストランでの新たな食事メニューを展開
- PA情報コーナーの拡充による地域情報の配信・広告PRの促進
- 知多半島に人流を生み、地域活性化を促すとともに、コロナ禍で密にならず、少人数ができるイベント企画としてリアル宝探しを開催
- 美浜PAを題材とした、高等学校工業研究会建築部に登録する高校またはこれに準ずる学科に在籍する生徒を対象とした建築デザインコンクールを開催し、入賞作品をはじめ、全応募作品を美浜PAに展示した作品展を実施
- 季刊誌「#おいしゅうございま知多」の発行（年2回）
- 地域コラボ商品の開発
- 知多横断道路の道路施設2箇所（掘割部ボックス、りんくうインター橋）においてネーミングライツの契約を締結



【モニタリング概要図】



【新技術の実証実験（愛知アクセラレートフィールド®）】



【季刊誌の発行】



【イベント企画（リアル宝探し）】

【評価】

- ・ISO55001のアセットマネジメントシステムを、導入3年後の更新審査、認証範囲の拡大等、適切に運用
- ・新技術導入に必要なフィールド検証を行う仕組み「愛知アクセラレートフィールド®」を活用し、新技術の実証実験を行うとともに、有効な性能が確認された先進技術を実務に導入する等、その取り組みを高く評価
- ・1日乗り放題チケットでは、これまでの現金利用者向けの乗り放題企画から、ETC利用者向けの乗り放題割引を新たに企画する等、利用者ニーズを反映した利用促進及び利用者サービス向上を着実に展開
- ・コロナ禍においても出来得るPRイベントを模索し、感染防止対策を徹底した上で適切に実施し、地域の活性化に向けた積極的な取り組みを確認
- ・テイクアウトの実施や新たなメニューの展開、情報コーナーの拡充やデジタルサイネージ活用による情報発信等を行い、利用者サービス向上、賑わいの創出、魅力ある取り組みを確認
- ・美浜PAを題材とした高校生のデザインコンクールの開催、季刊誌の発行、地域ブランド商品の開発等、知多半島の市町と連携した地域の活性化に向けた取り組みを確認



【1日乗り放題ポスター】



【建築デザインコンクール作品展】



知多横断道路上り掘割部ボックス



りんくうインター橋

【ネーミングライツの実施イメージ】